

事業別の市債現在高 見込み (平成14年3月31日現在)

Table with 2 columns: 事業名 (Business Name) and 市債残高 (Municipal Debt Balance). Lists various categories like roads, parks, and social welfare facilities with their respective debt amounts.

簡保資金からも融資を受けています

市の施設などを建設するとき、簡易保険などの積立金の一部を国から融資してもらっています。

平成13年度に融資を受けたものは、次のとおりです。

●簡易生命保険積立金融資

- 秋葉公園整備事業.....2020万円
公共下水道事業.....12億1550万円

(うち1億9800万円は繰越分)

市有財産の概況 (平成14年3月31日現在、水道財産を除く)



※基金とは、財政運営を円滑に行うための預貯金などのことをいいます。

市債は、道路や施設などの建設に一次的に必要となる多額の費用の負担を長期に分散させて年度間の調整を図ろうとするものです。また、できた施設などは将来の市民にも活用されるので、世代間で経費を公平に負担することにもなります。

市債の返済が減少へ

下水道事業特別会計とあわせて、各事業別の市債残高を高く順にしたものが左の表で、簡易保険などの資金から融資を受けた一覧がその下です。

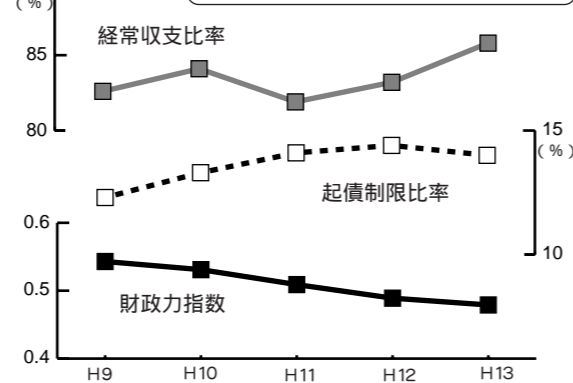
各指標で見る市の財政状況

下のグラフは、市の財政状況を表す各指標の推移を表したものです。まず、市町村の財政力を判断する一般的な指標として財政力指数というものがあ...

効率的で工夫を凝らした行政財政運営

ここまで述べてきたように、地方交付税や市税などの歳入が今後大幅に増加することは望めず、公債費の縮減をはじめとす...

グラフF 財政状況各指標の推移

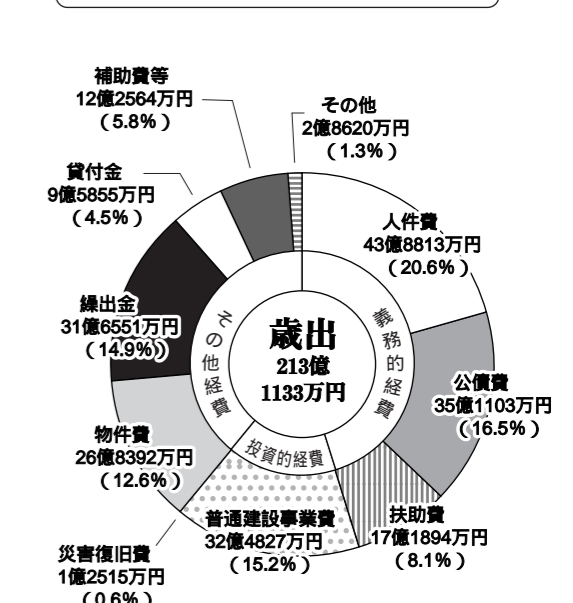


右のグラフは、平成十三年度の歳出についてその性質別に分類したものです。義務的経費とは、人件費、公債費(市債の償還に充てられる)、扶助費(生活保護など社会保障としての経費)の主に三つで、支出を義務づけられ任意に削減できないという性質を持ちます。

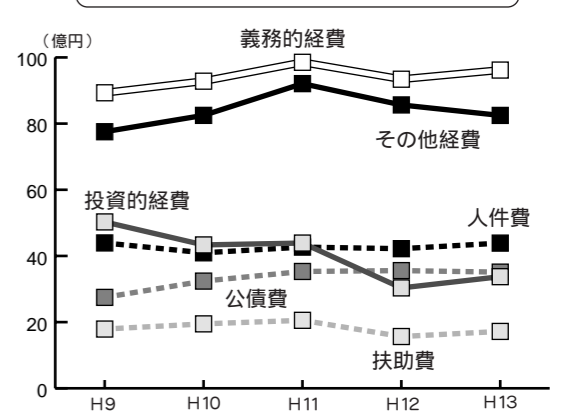
依然として高い義務的経費の割合

右下のグラフDは、歳出の性質別分類の推移を表したもので、平成十三年度は、その他経費以外が増加しています。特に義務的経費は高い水準が続いていて、その内訳(グラフの点線部分)を見ると、前年度では減少した人件費と扶助費が、わずかながら増加しています。

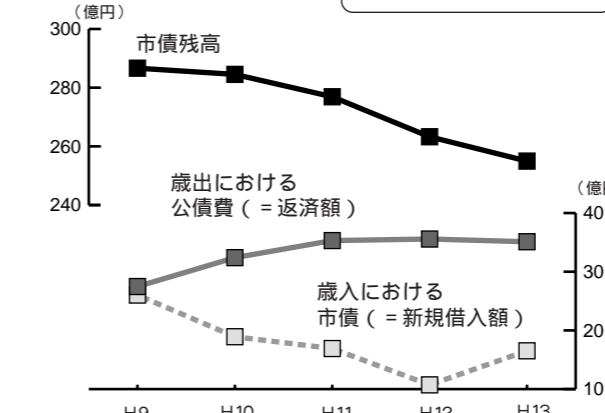
グラフC 一般会計歳出の性質別分類



グラフD 一般会計歳出の性質別推移



グラフE 市債の推移



平成13年度 特別会計の決算見込み

Table with 3 columns: 特別会計名 (Special Account Name), 歳入 (Revenue), 歳出 (Expenditure). Lists accounts like 老人保健, 下水道事業, etc.

平成13年度 水道事業会計の決算見込み

Table with 3 columns: 区分 (Category), 歳入 (Revenue), 歳出 (Expenditure). Lists 収益的収支 and 資本的収支.

資本的収支の不足額7億7273万円は、損益勘定留保資金、減債積立金および建設改良積立金などを取り崩して補てんしました。

各特別会計と水道事業会計の決算見込み
水道事業は、企業会計として独立して経理を行っています。平成十三年度は、出水不足解消改良工事や、鉄管布設替工事、金津配水所の建設工事、浄水場の施設改良などを実施して、安全でおいしい水を安定して供給することに努めました。